

---

## ＜三重県＞（種別：学校）三重県立明野高等学校

---

### 推薦理由

---

該当校は、農業に関する学科として生産科学科・食品科学科、家庭に関する学科として生活教養科、福祉に関する学科として福祉科があり、140年をこえる歴史と伝統のある地域に根ざした専門高校である。広大な敷地と緑豊かな学習環境の中、学校教育活動全体で知識・技能、社会人として必要な態度を身につけ、適切な職業観や勤労観をもって地域社会に貢献できる生徒の育成をめざしており、4学科それぞれが特徴を生かして、企業と協働した新商品の開発や地域のイベントへの出店、農業管理の基準であるGAP認証の取得などの起業体験に係る取組を組織的に行い、生徒が主体的に学び、課題を発見していく力や豊かな創造性を育てている。

#### 1. 各学科の取組

生産科学科では、独自ブランドとして生産したお米の「明高米」や飼育した豚の「伊勢あかりのぼーく」を、地元企業と協力してお菓子やお酒、肉みそやソーセージなどに商品化して販売している。「明高米」とオリジナルの日本酒は今年伊勢市のふるさと納税返礼品に採用されている。お米の生産実習ではグローバルGAP（米）認証、豚の飼育実習では、全国の高校で初めてJGAP家畜・畜産物（豚）認証を取得した。

食品科学科では、いろいろな種類のジャムや焼き菓子、味噌を製造し、校内の販売所で定期的に地域住民に販売したり、商店街のイベントや地域のお祭り等にも出店し、販売したりしている。また、「茶」の栽培・加工においてアジアGAP（緑茶・紅茶）認証を取得し、食の安全、環境保全、労働安全など、これからの農業経営者として必要となる資質や能力の育成に取り組んでいる。

生活教養科では、デザインコースの生徒が企業と協力して該当校の新しい現在の制服を制作したり、調理コースの生徒が三重県伊勢庁舎で地元食材を使ったランチメニュー「明野高校オリジナル献立」を提供したりするなど、実践的な学習に取り組んでいる。

福祉科では、地域のイベントでの障がい者理解を目的とした車いす体験企画や、地域のショッピングセンターでの子育て支援を目的としたハーバリウム製作教室を実施することで「人と人とのかかわり」の大切さなど働くための心構え等を育成している。

#### 2. 取組の成果

生徒は、各学科の特色を生かした学びを地域の様々な方々と関わりながら学習したことで、自ら進んで学び課題について考える姿勢や、地域社会の一員として適切にコミュニケーションをはかり、他者と関係を構築し、自らの役割を果たそうとする態度が育成されてきている。

また、生徒にとっては、地域社会との共働は、社会をより良くしようと頑張っている「本気の大人」との出会いであり、「なぜ学ぶのか」ということを考えるきっかけともなっており、生徒が主体的に学び、課題を発見していく力や創造性が大いに育まれている。